

第7回 JIPA知財シンポジウム

知財経営を先導する組織・人材

第3部パネルディスカッション「知財経営戦略を推進する人材の育成」

『研究開発部門からみた知財部門の現状と要望』

(株)小松製作所 常務執行役員 研究本部長 淵上 正朗

I. コマツのビジネスと”ダントツ”戦略

II. 知財部門への期待

III. 知財効果の見える化

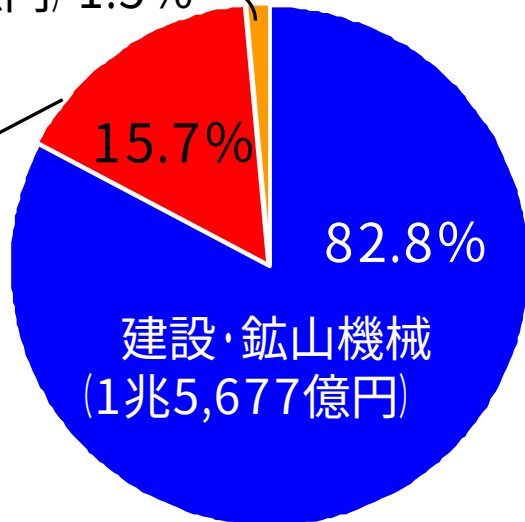
IV. 知財部門の人材育成について

Ⅰ. コマツのビジネスと“ダントツ”戦略

コマツの概要

- ・設立 : 1921年5月13日
- ・連結売上高 : 1兆8,933億円
- ・営業利益 : 2,447億円
- ・総資産 : 1兆8,439億円
- ・事業別の売上構成 (2007年3月期)
- ・連結子会社 : 145社
- ・連結社員数 : 33,863人 (2007年3月31日現在)

エレクトロニクス (電子材料)
(276億円) 1.5%

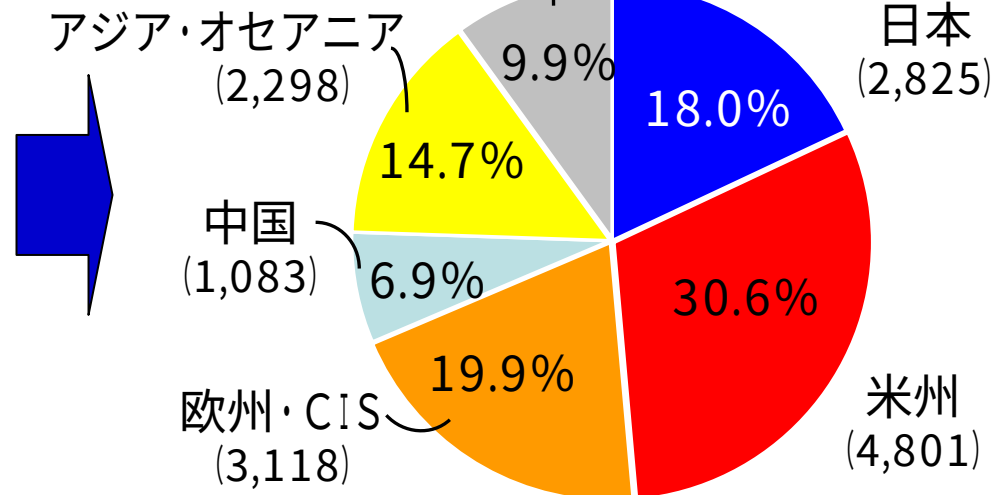


産業機械・車両他 (2,980億円)

建設・鉱山機械の地域別売上構成

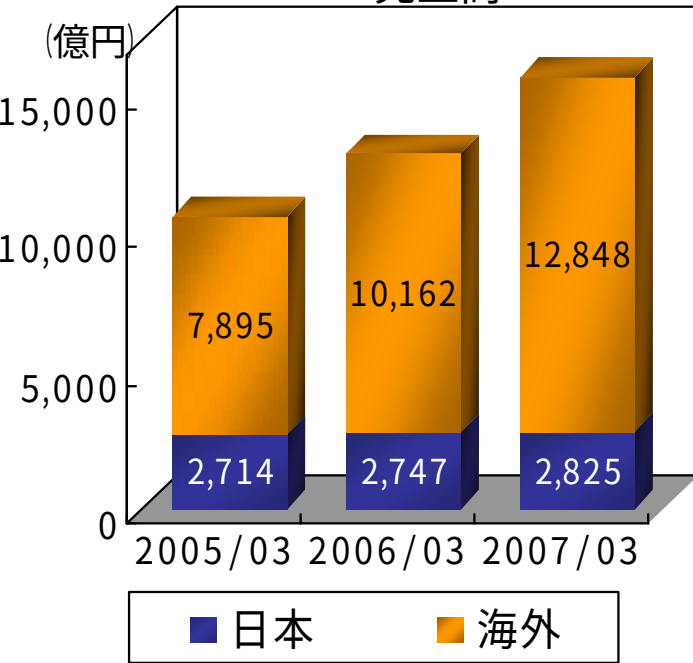
中近東・アフリカ
(1,548)

(金額: 億円)



主な事業<建設・鉱山機械>

売上高



油圧ショベル



ダンプトラック



モーターグレーダー

GALEO

ブルドーザー



ホイールローダー



主な事業<産業機械>



大型プレス(自動車のボディ等を成型)



ACサーボ式プレス
(H1F45 45ton)
<コマツ産機>



プラズマ加工機
(ツイスターTFP3051)
<コマツ産機>



クランクシャフトミラー
<コマツ工機>



液晶製造装置用搬送機
<コマツ工機>

建設・鉱山機械のダントツ商品

売上げ・収益への貢献度の高い商品で「ダントツ」化を推進！

2006年に市場導入したダントツ商品

環境に対する負荷低減と燃料消費量の改善

環 境

安 全

I T



ホイールローダーWA600
(2006年4月導入)

油圧ショベルPC200
(2006年2月導入)

ブルドーザD155AX
(2006年4月導入)

II. 知的財産部門への期待

1 既存ビジネスの権利化



小改良の積み重ねが勝負



(ガメツイ知財で)

コンペティタのキャッチアップ
の障害となるような**“特許群”**

2 新事業や新しいビジネスモデルの権利化

For example.

➡ KOMTRAX

広い概念の権利化が勝負

KOMTRAX システム概略



III. 知財効果の見える化

経営のキーワード 「見える化」



見える化してファクトをつかめば、必ず改善のアイデアが生まれる。
逆にファクトの裏づけがなければ、何をやっても中途半端になる。

ファクツファインディング(事実の発見)



知財部すべての特許の経済効果を毎年計算

コマツの知財報奨制度

特徴

① 本人の申請を待たず自動給付。



すべての知財の経済効果が
毎年計算されている。

② 上限金額なし。

③ 上位ランク者 実名公表(社内)。



発明マインドの刺激

④ 退職後、また本人死亡後も給付する。

知的財産の効果

攻撃	・ライセンス収入
	・商品の独占性確保 (性能・機能の差別化)
	・独占的原価改善
防御	・出費回避 ・防衛出費 ・抵触回避、無効化

IV. 知財部門の人材育成について

①知財部配属時教育
本社駐在経験

②事業部門との連携

- ・原則、事業部門10年以上経験者を配属
- ・担当事業所内に駐在

人財育成

③オールラウンドプレーヤーへ
明細書作成・出願から渉外活動までの
一環担当

④各種OffJT

- 知財協専門委員会や各種講習会に参加
- …ほぼ全員参加
- 海外短期留学やリーダー選抜教育プログラム
- …一部キーマンが対象

知財戦略の本質は、係争予防であるが、時には、係争が「ダントツをねらう」ために必要になることもある。係争経験を重ねることで能力が伸びる。

**ご静聴いただき、
誠にありがとうございました。**